

ューブをつけて、すでに数百個の炭素星のスペクトルがとられて、サンフォード以来の大量の資料を提供することになるだろう。1956年に36インチがつくられた時は、光電測光を目的としていたが、最近ではイメージ・チューブをつけた分光器にかなりの時間使われている。82インチのクーデにあるもの、紫外域用分光器のものなど含め

ると、現在マクドナルドでは4本のイメージ・チューブが使われている。今、実験室でテストされている新しい、5ミクロンの分解能で50ミリのひずみなしの写野をもつ、グリボーバルのイメージ・チューブが観測に用いられるのも間近い。これらのことを見ると、地上の観測天文学の将来も予断を許さないものがあると思われる。

賛助会員名簿

旭光学工業株式会社	鈴木幸三郎	谷村株式会社新興製作所	谷村貞治
朝日新聞社科学部	高津真也	中部電力株式会社	横山道夫
アジア航空測量株式会社	柏木秀一	地人書館	上条勇
アストロ光学工業株式会社	滝沢馨	電気興業株式会社	萩原憲三
岩井計算センター	大隅義郎	天文博物館	
岩波書店	岩波雄二郎	五島プラネタリウム	五島昇
応用電気研究所	唐沢大介	東京精密測器株式会社	池辺常刀
オリンパス光学工業株式会社	中野撒夫	東京電力株式会社	木川田一隆
学術印刷株式会社	大熊竜象	東光通商株式会社	小幡三雄
梶原電気株式会社	梶原家富	東北電力株式会社	平井寛一郎
カールツァイス株式会社	Johannes Maaz	東陽通商株式会社	奥村喜和男
関西電力株式会社	芦原義重	ナルミ商会	村上俊男
関東電気工業株式会社	関井忠夫	日米商会	高野高之
九州電力株式会社	赤羽善治	日本IBMデータセンター	佐田静夫
倉敷レイヨン株式会社	大原総一郎	日本光学工業株式会社	白浜浩
恒星社厚生閣	志賀正路	日本出版貿易株式会社	望月正捷
甲南カメラ研究所	西村中子	日本平富士観光センター	
五藤光学研究所	五藤斉三	天文台プラネタリウム	坪井正
金光教本部教庁	金光鑑太郎	早川電気工業株式会社	
三栄測器株式会社	丘山欽也	半導体技術部	馬場幸三郎
三省堂	小倉正風	服部時計店	服部正次
島田理化学工業株式会社	実武夫	林建設株式会社	林米一郎
新電子工業株式会社	山本和一	毎日新聞社学芸部	角田明
住友化学工業株式会社	大谷一雄	丸善株式会社	司忠
誠文堂新光社	小川誠一郎	三鷹光器株式会社	中村義一
測機舎株式会社	西川末二	三菱重工業株式会社	磯貝誠
ソニー株式会社	井深大	三菱電機株式会社	伊東祐義
太陽社	弘田道淳	ミノルタカメラ株式会社	田嶋一雄
		八洲測量株式会社	西村正紀

昭和44年5月20日
印刷発行
定価125円

編集兼発行人 東京都三鷹市東京天文台内
印刷所 東京都文京区水道2-7-5
発行所 東京都三鷹市東京天文台内
電話武蔵野45局(0422-45)1959

広瀬秀雄
啓文堂松本印刷
社団法人日本天文学会
振替口座東京13595